

特集

「新設1学部・2学科」

会報むら竹

祝

堀越千代先生
顕彰碑建立10周年
記念式典を開催します

2026年9月27日(日)

於:盛岡市 正覚寺

※参加ご希望の方は
むら竹会事務室まで
お問い合わせください



学園正門の銀杏

ご長寿会員の皆様

S23 芙蓉会
山田 禮子 様 (96歳)

S24 真間会
伊藤 かく 様 (97歳)

S24 真間会
大越 昌子 様 (96歳)

S25 若草会
大島 良子 様 (95歳)

S27 短生活
須釜 千代 様 (96歳)

会長就任にあたり

むら竹会 和洋女子大学同窓会 会長
中嶋 富美



今、和洋学園キャンパスでは、十月桜・冬桜・寒緋桜が次々に咲き、これから4月まで、古木のソメイヨシノを含め10種類の桜の開花が楽しめます。学生をはじめ多くの人を楽しませ癒しとなる季節になります。卒業生の皆さま、是非足をお運びください。

私は2025年度むら竹会 和洋女子大学同窓会総会において、承認をいただき会長に就任しました中嶋富美です。

高梨禮子前会長はじめ、むら竹会は、これまでの歳月の中で様々な苦難にも遭いましたが、歴代同窓会理事長・会長の和洋魂の精神とご尽力により、今日の強さと優しさを兼ね備えた誇り高き、むら竹会が作られました。これら先輩諸氏の気骨を思うと、会長としての重責が

務まるか不安ではありますが、皆様のお力添えをいただき、役員・運営委員、そして支部会の方々と共に精一杯同窓会を継承していく所存です。よろしくお願い申し上げます。

さて、むら竹会 和洋女子大学同窓会は、本年110周年を迎えます。同時にこの会報誌も創刊110年になります。同窓会事務室の書棚には、堀越千代先生が書かれた題字『むらたけ』と竹の絵が印刷された第一号から現在まで、和洋学園とむら竹会の歴史を語る証人として大切に保存されております。「むらたけ」「むら竹」「むら竹会会報」そして「会報むら竹」となりましたが、その時々の記事は編集を担当された方々の熱い思いが刻まれております。

この「会報43号」が皆様に届き、むら竹会そして和洋女子大学に接する機会となり、さらに和洋女子大学を応援し関心を寄せていただく仲立ちとなれば幸いに存じます。

「和魂洋才 明朗和順」そして「女性の自立」和洋女子大学の掲げる精神が継承され、未来に向けて躍進することを願います。

女子大学の存在意義

和洋学園 理事長 満田 泰夫



一年中で一番美しい春爛漫の季節が到来しました。むら竹会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

和洋女子大学は、1897年和洋裁縫女学院として設立されてから本年で129年を迎えます(大学設置は1949年)。この間本学は多くの人材を輩出してきました。

ところで近年の少子化の影響は大きく、全国的女子大で、入学者の定員割れ、男女共学への移行、新規学生募集停止、学部・学科の再編といった大学存続そのものに関わる動きが現実のものとなっています。

さて現代の日本社会をつぶさに見ると、男女賃金格差は依然として存在しており、国会議員全体に占める女子の比率は先進国中最低であるなど(世界全体では137位)、「男女共同参画社会」は未だしの感があります。こうした状況を改善するには、社会慣行の見直しや企業等に対する働きかけ等も必要でしょうが、何より女性自身の意識改革が重要でしょう。その意味でも女子学生が切磋琢磨し成長する場としての女子大学の存在意義はなお大きいものと言わなければなりません。

和洋女子大学は、歴史と文化の薫り高い国府台の地において、真摯に努力を惜まず学ぶ学生と熱意にあふれた教員に支えられながら、女子大学として今後も維持、発展していかねばなりません。そのためには、伝統を基礎としつつ、教育内容・方法を社会のニーズに合った方向に変えていく必要があります。その一つの試みとしてAI時代の到来に対応して「AIライフデザイン学部」を26年4月から開設することにしました。今後とも、私どもは和魂洋才、明朗和順の精神を受け継ぎ、社会に貢献できる自立した女性を送り出して行きたいと考えています。

むら竹会の皆様のさらなるご支援をお願い申し上げます。

ご挨拶

和洋女子大学 学長 熊谷 優子



このたび、2026年4月1日より和洋女子大学学長に就任することとなりました。本学の歴史と伝統を受け継ぎ、その未来を託されたことに、深い責任と強い決意を抱いております。

本学は、明治30年(1897年)の創設以来、「和魂洋才・明朗和順」という建学の精神のもとで、時代に流されることなく、人を支える「心」と「技術」をもって行動する女性を育て、多様な社会の中核となって活躍する女性を育てまいりました。それは単に知識や技能を授けることではなく、礼節を重んじ、社会と誠実に向き合い、人々の生活を豊かにする力を育む教育です。

私は、この建学の精神を「守る」だけではなく、「未来へと進化させる」改革を進めます。社会は急速に変化し、人口構造の変化、産業の転換、生活様式の多様化など、大きな課題に直面しています。大学は、知の拠点として存在するだけではなく、社会や地域とともに未来を創りだす主体でなければなりません。本学が長年培ってきた、食・生活・教育・福祉・文化に関わる高い専門性は、社会や地域の持続可能性を支える力そのものとなります。その学びを学内にとどめることなく、社会の課題解決とより強く結びつけ、学生が課題解決に主体的に関わる機会を広げ、実践知へと高めてまいります。私は、和洋女子大学を「社会や地域の未来を描く和洋」へと、さらに発展させてまいります。

同時に、教育改革にも果敢に取り組みます。分野横断型の学びの充実、課題解決型学修の推進、少人数教育の強みを生かした伴走型支援体制の強化により、社会で実践できる力を育てまいります。さらに、2026年4月にAIライフデザイン学部を設置しました。学園全体のAI教育の基盤を確立し、生成AI等の技術革新が進む社会において求められる教育を強化してまいります。

女子大学には、女性が自らの可能性を広げ、リーダーシップを育む場としての大きな役割があります。社会の未来を担う女性人材の育成拠点として、和洋女子大学は明確なビジョンと行動力をもって前進してまいります。

本学の挑戦に、皆さまの温かいご理解と力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。(2026年4月1日より就任)

2025年度 稗方・むら竹会奨学金「採用決定者の集いの会」開催



日本文学文化学科 4年 近藤 桃佳

むら竹会の皆様とは、採用決定者の集いの会や里見祭準備を通して関わらせていただきました。学生と卒業生を繋ぐ架け橋としての活動を間近で拝見し、笑顔で接して下さる姿に大きな励ましをいただきました。

いただいた奨学金は、卒業書作展に関わる費用として大切に活用させていただきます。書道専攻4年生は、全員が出身市町村において個展形式で卒業書作展を開催します。4年間の学書の成果を発表する機会をいただけることは、大きな魅力であると同時に、責任も感じています。これまでお世話になった方々への感謝と、書道に触れたことのない方にも楽しんでいただきたいという思いを胸に念願の個展に向け、心を込めて準備に取り組んでいます。

奨学生としてのご期待に応えられるよう、今後もひたむきに精進してまいります。

和洋卒・元家庭科教員の先輩と学生との対話セミナー

2026年1月14日(水)

和洋女子大学 家庭科教育研究所主催で開催
及川亜希子氏(岩手日報社)の講演

元家庭科教員の卒業生 4名とのトークセッション等

南館9階の大会議室が教員志望の学生と関係者で埋まりました。



令和7年 秋の叙勲 旭日双光章受章に寄せて

昭和48年生活学科卒 菊池 房江



令和7年11月12日、ホテルニューオータニに於いて旭日双光章の勲記・勲章の伝達式に臨み、勲章を着用し秋晴れの心地よい日差しの中を皇居に拝謁に参りました。

天皇陛下が立ち止まれ、直接お言葉を賜るという幸福な時間を持つことが出来、「これからずっと作り続けてくださいね。」と温かいお励ましのお言葉を頂戴できました事が、私の人生の宝物となりました。

旭日双光章を賜ることが出来たその道程には、家族の理解と応援があり、長い歲月の中で出会わせていただいた大勢の方々と共に築いて来た絆の力に、光が当てられたのだと改めて感謝の気持ちでいっぱいです。喜びを分かち合いご返返しをしてみたいと思います。

私の人生を支えてくれた工芸美術の七宝パネル制作も40年以上の歴史を刻み、岩手工芸美術協会会長等を務め、工芸界の振興と後継者育成の工芸セミナー等を開催してきました。和洋創立者 堀越千代先生が目指した教育理念をお手本に頑張ってきた歳月だったと思います。千代先生が盛岡市先人記念館で顕彰の日を夢見て…

ご退職の 先生方

金子 健彦	先生(学長・健康栄養学科)
柳澤 幸江	先生(健康栄養学科)
酒井久美代	先生(心理学)
田代 和美	先生(こども発達学科)
中澤 明美	先生(看護学科)
石館美弥子	先生(看護学科)
松井 幾子	先生(健康栄養学科)

同窓会活動へのご協力ありがとうございました

追悼

和洋女子大学 名誉教授

岩下 裕一 先生

令和7年10月ご逝去 享年78歳

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます

令和7(2025)年度 卒業年度同期会幹事の皆さん

計21名



■人文学部

日本文学文化学科

今 吉 穂乃花
渡 邊 友佳子
正 岡 来 都

心理学科

鈴 木 翔 子

こども発達学科

金 子 舞 美
齋 藤 みずほ

■国際学部

英語コミュニケーション学科

金 子 美杏華
東 郷 瑞 季

国際学科

柏 木 菜々香
中 村 友 紀

■家政学部

服飾造形学科

及 川 七 海

健康栄養学科

石 毛 沙耶香
中 村 彩 乃

家政福祉学科

高 柳 結 女
田 中 李 奈

寺 田 菜々美
飛 山 愛 耶

伊 藤 桃

■看護学部

看護学科

森 日向子
牧 野 央 奈

他

※同期会幹事の皆様は、学科同期生の要となり大学とのパイプ役となる方々です。
むら竹会の卒業生交流行事など積極的なご協力をお願いいたします。

第66回

里見祭

里見祭実行委員長 実行委員会本部 矢口 結菜



里見祭に関わっていただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます、誠にありがとうございました。皆様の温かいご声援と笑顔に支えられ、里見祭を無事に成功へと導くことができました。

今年の実行委員会本部は全員が未経験からのスタートとなり当初は戸惑うことも多々ありました。しかし、一人ひとりが自覚と責任を持ち一丸となって準備・運営に取り組んでまいりました。新しい企画や運営方法への挑戦には不安も伴いましたが、その一つひとつを乗り越えた経験が今回の大きな成功に繋がったと確信しています。

この貴重な経験を糧に、これからの学校生活においても前向きに挑戦し続けていきたいと考えております。



令和7年度 和洋女子大学大学院 修士論文発表会・博士論文公聴会

■人文科学研究科

英語文学・日本文学専攻
修士課程 令和8年2月17日

■総合生活研究科

博士後期課程論文公聴会 令和8年2月5日
博士前期課程論文審査会 令和8年2月26日

■看護学研究科

修士課程 令和8年2月27日

卒 業 制 作 展



日本文学文化学科

◎文化芸術専攻第15期生
芳澤ガーデンギャラリー
での展示
(R8.2月14日～18日)
「Web展覧会」を開催



◎書道専攻

第51回「雁鴻会書展」
R8年1月下旬～3月上旬
在住または出身市町村に
おいて個展形式で開催



博物館学芸員課程

◎2025年度 博物館学芸員課程 学生展開催
Aグループ「幸運を運ぶ絵馬
～船に乗ってくる神々と学問の神～」
Bグループ「絵馬で巡る干支の世界」
(R7.12月8日～R8.1月29日)
文化資料館にて



服飾造形学科

・卒業制作ショー (R8.11月1日)
西館1階1～4教室にて開催
(動画は3月上旬和洋女子大学HPに
公開予定)

AI ライフデザイン学部の開設について

2026年4月より、大学の新しい学部の一つとして「AIライフデザイン学部(AIライフデザイン学科)」が開設されます。新学部の立ち上げについては、学園全体のバックアップを受けて文科省への届出、広報ならびに学生募集そして入試業務を職員の方々と力を合わせて進めております。第一期生を迎える準備は着々と進んでおります。

このAIライフデザイン学部という名称は、日本に一つしかありません。名称だけでもユニークであることがお分かりかと思いますが、その目的とするところや学びも従来の和洋女子大学の学部学科とは異なる側面を持ちます。そのことについて説明いたします。



AIライフデザイン学科
キャラクター **チバAIナガ**



やいわゆる理系的な分野も含まれています。その上で文系の背景を持つ学生が学びを深められるように科目を取りそろえております。

- (1) AIを学ぶのは当然ですがどのように使いこなすかについて学び、応用の側面を重点的に身につけます。
- (2) AIを単独ではなく、プラスするという観点で広い専門分野に展開できるような学びの中味(カリキュラム)を展開いたします。
- (3) 広い専門分野とは、人文学(日本語学、心理学、博物館学)、家政学(栄養学、食品学、繊維学)、教育学(理科教育)メディアコミュニケーション、公衆衛生学、解析学、AI活用といったものが含まれており、和洋女子大学として歴史ある学びの領域に加えてデジタル関連科目

- (4) キャリアを念頭に置いて実習系科目ならびにビジネス系科目を配置しています。一つにソフトウェアを学ぶだけでなく、アプリケーションを開発する実地体験、地域おこしといった地道な活動につながる学び、二つ目としてビジネスマナーやインターンシップといった卒業後に社会での活躍に直結する実務的な学びを行います。
- (5) 高速ネットワーク環境に加えて学科独自の学びの環境(AI Link-Cube、AI Link-Lab、AI Link Studio)を用意し、学生たちがリアルな体験を重視しつつ、学びが進められるようにいたしました。



- (6) 学生の主体的な学びとその拡がり担保するために必修科目を最低限度にし、各自の意欲を高めつつ、自分のやりたいことに集中できるように幅広い選択科目を用意しました。
新任教員も含め、13名で第一期生の入学をお待ちしています。

和洋女子大学 AI ライフデザイン学科 開設記念講座

実施日時：7月25日(土)・8月8日(土) 14:00~15:30 担当講師：拝田 清/中込 真/小平 正和

■夏休みに開催しますので、中学生・高校生も受講できます。

■詳細・お申込みは、和洋女子大学 ホームページにてご確認ください。

2026 年 4 月開設 家政学部生活環境学科

家政福祉学科と服飾造形学科を統合した生活環境学科が開設されます。

学科の特色

生活環境とは、衣生活、食生活、住生活、福祉など、人々の身近な暮らしの環境のことです。誰もが毎日、生涯関わっている、生きる上で欠かせない環境です。

生活環境学科では、幸せで豊かな生活を送るための学び、生涯、役に立つ学びを通して、質の高い未来の生活を創造する力を身につけます。学科の特色は右に示す3つです。

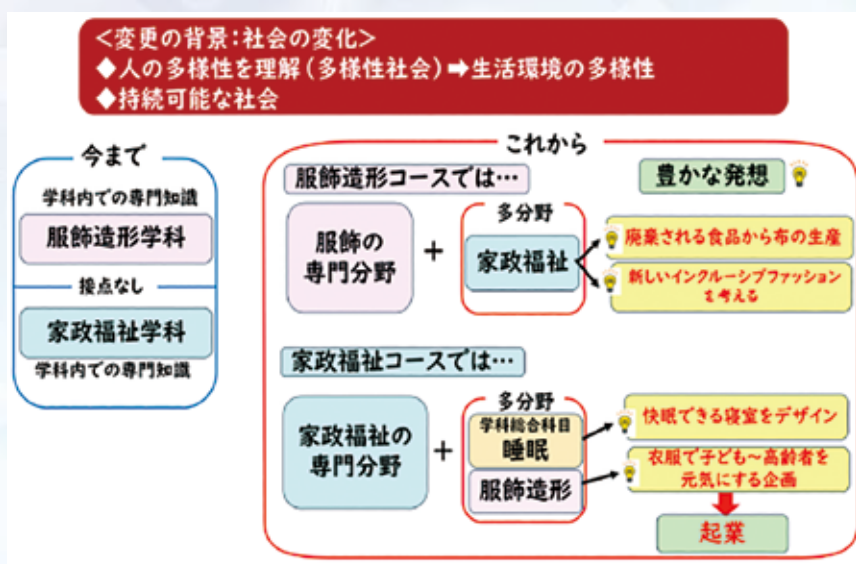


学科の学び

1年生では、衣生活、食生活、住生活、福祉などの家政学に関する多分野の学びを基盤科目で学びます。2年生から2つのコースに別れて専門を学びますが、並行して両コース共通の起業や生活環境演習、睡眠改善学等の学科総合科目等で多分野を学びます。

新学科になった背景

社会の変化で生活環境が多様化し、持続可能な社会も求められています。専門知識と併せて多分野の学びが必要になっています。そこで、専門と多分野の学びから、多様性や持続可能な社会に配慮した豊かな発想、問題解決能力だけでなく、起業を通して社会に貢献する力を身につけます。



2025年度 むら竹会 本部総会・懇親会報告



令和7年5月24日(土) 和洋女子大学東館18階ラウンジむら竹にて開催。

出席者75名(ご来賓8名含)。退任される、大学同窓会会長として長く活躍された高梨禮子様へ感謝の気持ちとして新会長よりランの花が贈呈された。

アトラクション: 京劇俳優 石山雄太氏による公演。

第5回 グリーンフェスティバル開催

令和7年6月14日(土) 国府台キャンパスにて開催。キッチンカー等も並び、準備万端のところ、あいにくの雨となり講堂での演技披露となりました。

女子プロレスラー衣装のガウンお披露目会開催!!



服飾造形学科3年生12名が制作 (2026. 2. 12)

第66回 里見祭・ホームカミングデー

令和7年11月1・2日東館9階にて開催。例年通りのバザーや物産展で交流を深めました。物産展の品は9支部(岩手・宮城・富山・群馬・長野・茨城・埼玉・東京・千葉)のご協力をいただきました。バザー・物産展の売上は65,585円でした。

次回は令和8年10月31日・11月1日です。

皆様ぜひご参加ください。

2026年 むら竹会 和洋女子大学同窓会
総会・懇親会ご案内

<むら竹会110周年記念>

日時: 令和8年5月23日(土)

11時30分~15時

(受付開始11時)

アトラクション: 浅草オペラ(木村末希氏)

会場: 和洋女子大学 東館18階
ラウンジむら竹

会費: ￥2,000 (振込用紙で入金願います)

※ご出席の方は4月末日までに振り込み願います

むら竹会 作品展
「金木佳江 作品展」開催

里見祭同日には毎年東館18階で卒業生の作品を展示しています。

今回は2011年渡仏、オートクチュール刺繍の成果を持ち帰った金木さんの貴重な作品の数々と、2005年卒業制作の刺繍入りドレスも展示されました。(H17.3 服飾)

書 道

「第118回日展」第5科(書)部門において今回、卒業生11名が入選しました。

2025年10/31~11/23

国立新美術館

支部会報告

宮城県支部

支部長 井崎 八重子



秋田県支部

支部長 豊島 茅保子



長野県支部

支部長 太田 恵子



岩手県支部

支部長 菊池 房江



東京都支部

支部長 永瀬 富士子



千葉県支部

支部長 吉井 紀子



クラス会だより



短大生活 S41 令和7年5月8日

同級生3名で学内見学
18階で食事をしました



学部被服 S41 令和7年5月27日

浅草ビューホテルにて
8名のクラス会でした



学部被服 S45 令和7年10月30日

上野 韻松亭にて
新聞掲載の母校の記事を紹介しました

大小クラス会の情報をお知らせください
(卒年・開催日・会場等)

和洋女子大学 生涯・リカレント講座2026

- 本学の専任教員が講師をつとめ、週末土曜日14:00～15:30に**国府台キャンパス**にて実施いたします。
 ■ 詳細・お申込みは、和洋女子大学 ホームページにてご確認ください。
 ■ お問い合わせは、産官学・地域・生涯教育センター renkei@wayo.ac.jp までご連絡ください。

実施日	学 科	担当講師	講座タイトル
6月20日	国際学科	藤 丸 麻 紀	暮らしに役立つ「行動経済学」入門
7月4日	日本文学文化学科	川 合 広太郎	平安貴族が生み出した究極の美「ひらがな」
10月10日	英語コミュニケーション学科	長 妻 由里子	ジェンダー基礎講座
11月7日	心理学科	萩 原 千 晶	身近な話題から考える性格の心理学
12月19日	生活環境学科	板 倉 香 子	不登校と「斜線だらけの通知表」

※ AI ライフデザイン学科は4頁をご覧ください。

令和8年度 市川市主催講座（いちかわ市民アカデミー講座）

■ 詳細は市川市のホームページをご確認ください。（3回連続講座となります）

実施日	学 科	担当講師	講座タイトル
9月12日	健康栄養学科	高 橋 佳 子	「頑張り」から「自然に整う」健康づくりへ
12月5日	こども発達学科	小 倉 定 枝	どう乗り越える？イイヤヤ期
1月30日	看護学科	加 藤 星 花	ストレスとの上手なつき合い方

和洋女子大学
文化資料館

東館17階から関東平野を一望できる眺めの良い資料館です。年2回、春と秋に企画展示を行うほか、和洋で学ぶ学生たちの作品も随時展示します。

- 開館時間：月～金 10:00～16:30
- 休 館 日：日曜・祝日 / 大学の休校中 / 展示替の期間
- 入 館：無料

※ 開館日や入館時間を変更する場合があります。詳細は文化資料館 HP をご覧ください。

■ お問い合わせ：
文化資料館オフィス (047-371-2494)

むら竹会 和洋女子大学同窓会 令和6年度 決算書

収入の部		令和6年4月1日～令和7年3月31日		
款項目／科目		予算	決算	差異
会費収入		16,050,000	13,683,229	△2,366,771
寄付金収入		100,000	103,500	3,500
雑収入		8,500	89,578	81,078
当期収入合計		16,158,500	13,876,307	△2,282,193
前期繰越収支差額		64,771,516	64,817,588	46,072
収入合計		80,930,016	78,693,895	△2,236,121

支出の部		予算	決算	差異
款項目／科目				
本 部 費	1,950,000	1,882,280	67,720	
管 理 費	2,330,000	1,317,070	1,012,930	
会 員 援 助 費	650,000	223,346	426,654	
文 化 福 祉 活 動 費	300,000	255,080	44,920	
編 集 部 費	4,970,000	4,734,181	235,819	
商 品 代 金	100,000	0	100,000	
記 念 事 業 積 立 金	2,000,000	2,000,000	0	
寄 付 金	500,000	0	500,000	
同 窓 会 室 整 備 費	150,000	49,512	100,488	
予 備 費	100,000	0	100,000	
当 期 支 出 合 計	13,050,000	10,461,469	2,588,531	
次 期 繰 越 金	67,880,016	68,232,426	△352,410	
支 出 合 計	80,930,016	78,693,895	2,236,121	

令和6年度 別途積立金

	預入先	前年度末残高	本年度払出	本年度積立	本年度末残高
記念事業積立金	三菱UFJ銀行	10,000,000	0	2,000,000	12,000,000

和洋学園の今を伝える

公式 LINE 開設！

QR コードから登録できます



<https://lin.ee/L5is4jy>

2026年度 むら竹会本部・支部総会・懇親会開催予定

開催日	都道府県	会長・支部長
5月23日（土）	本 部	中 嶋 富 美
6月6日（土）	群 馬 県	安 中 正 子
6月中旬予定	長 野 県	太 田 恵 子
6月21日（日）	埼 玉 県	小 林 幸 子
6月27・28日（土日）	岩 手 県	菊 池 房 江

※次回開催日をその年の1月末日までに事務局にお知らせください。

監査報告

むら竹会 和洋女子大学同窓会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの会計書類を監査いたしました。その結果、全て適正であることを確認しました。

令和7年5月2日

監事 高野 俊
監事 榎本 春榮

★卒業後の住所変更のお願い

卒業後、住所変更をされた方はむら竹会和洋女子大学同窓会事務室まで新住所をお知らせください。

ハガキ・FAX等で旧姓・旧住所・新住所記入でお知らせ下さい。

★同窓会会費納入のお願い

同窓会の年会費は1,500円です。同窓会は会員の皆様から頂く会費により運営されております。2016（平成28年）3月以前に卒業の方は納入をお願いいたします。

★むら竹会事務室

月・火・木・金曜日（対応可）10時～16時

ただし、大学が休業の場合はお休みとなります。不在時はFAXの対応になります。

（TEL・FAX 047-373-4793）

むら竹会 和洋女子大学同窓会 〒272-8533 市川市国府台 2-3-1

あ と が き

イタリア、ミラノ・コルティナで2026年2月、冬のオリンピックが開催されました。開会式では、イタリアの奥深い文化の数々を知る機会となりました。

笑顔で参加する選手達ですが、戦争の無い平和であればこそ参加できる祭典です。

地球に生きる私たち一人ひとりが考え、行動していかなければならないと思いました。ご多忙の中、会報へのご協力を頂きました同窓会、教職員ならびに学生の皆様に厚く御礼申し上げます。

次号に向けて、身近な情報やご意見をお寄せいただければ幸いです。

広報委員長 佐久間敏子
委 員 中村かおる
宮島 実子
山本 高美
潤間美智江
協 力 山本 洋子

